

# ガスコージェネ、ディーゼル発電設備に注力 病院・介護施設など向け販売・メンテナンス

## 敷島機器株式会社（札幌市東区）

今回は「敷島機器株式会社」取材しました。代表取締役社長・高橋紀行氏。  
☎011-711-9121。〒065-0007 北海道札幌市東区北7条東18丁目1番35号。昭和23年（1948年）7月創業。現在、三菱重工エンジン&ターボチャージャー株式会社の北海道総代理店、三菱電機株式会社の特約店となっています。

北海道エリアで、水産業を支える船舶用主機・補機用ディーゼルエンジンを販売・メンテナンスを担っています。一方、病院・保健施設、ホテル、工場、テナントビル、スーパー向け分散型電源として常用ガスエンジンコージェネレーションシステム、常用ガスエンジン発電設備、非常用・防災用ディーゼルエンジン発電設備を販売し、定期点検・分解整備などのアフターサービスも担っています。

平成28年（2016年）3月に三菱グループの総合機械商社・西華（せいか）産業株式会社（東京都千代田区）に株式を譲渡しグループ企業に加わった、敷島機器株式会社について取り組みを紹介します。

### 創業の経緯

敷島機器株式会社の創業者は中村與三郎（なかむら・よさぶろう）氏。石川県金沢市出身。與三郎氏

は明治23年（1890年）、北海道札幌村大字苗穂村に移住。札幌には石狩方面から札幌方面へと物資を運ぶため、東西方向に掘られた人工河川・創成川があります。

與三郎氏は明治24年（1891年）、創成川沿いに「中村鮮魚店」を設立。現在の札幌市中央区北4条東1丁目。大正3年（1914年）、現在の札幌市中央区北2条西3丁目に「敷島屋旅館」を設立しました。北海道では、鉄道の敷設、港湾の整備、炭鉱の開発、鉄鋼事業所の設立などが盛んだった時代。北海道開発に携わった三菱グループ社員達は札幌の敷島屋旅館を定宿とし、大いに賑わったといえます。

昭和7年（1932年）、2代目社長として中村武雄氏が就任。併せて、全館を新築しました。しかし、



敷島機器株式会社 本社社屋



敷島機器株式会社 本社工場

戦時下の昭和19年（1944年）、建物一部疎開により運輸通信省に敷島屋旅館を譲渡し廃業しました。

戦後の昭和23年（1948年）7月3日、武雄氏は「株式会社敷島屋」を設立し創業しました。昭和24年（1949年）、疎開跡地に社屋を竣工。戦前、三菱グループ社員達が敷島屋旅館を定宿としていたご縁により、陸・船用三菱エンジンをはじめ三菱グループの建設機械の販売を開始。昭和29年（1954年）、三菱重工業株式会社の「北海道総代理店」となりました。昭和31年（1956年）、函館支店を開設し、漁船や船舶向け主機・補機用の三菱ディーゼルエンジンの販売・メンテナンスに注力しました。

株式会社敷島屋は昭和34年（1959年）、機械販売に加え、不動産賃貸業に進出。昭和50年（1975年）、不動産賃貸業に専念することとし、機械販売部門を分離独立し、「北海道ダイヤ販売株式会社」を設立しました。北海道ダイヤ販売株式会社は昭和57年（1982年）、産業機械部を新設。昭和60年（1985年）、3代目社長として中村達也氏が就任。併せて、札幌市白石区流通センター内に物流センターを開設しました。昭和62年（1987年）、社名を「敷島機器株式会社」と変更し、現在に至っています。

## 事業の変遷

敷島機器株式会社では、函館・浦河・道東・根室・羅臼・湧別・枝幸・稚内の8支店を、また標津・羽幌の2営業所を開設しています。恵まれた漁場を臨む海岸線に面した地区に開設された支店・営業所を営業拠点として、同社は「船用市場」向け製品を中心に事業展開を図り、積極的に売り込みを行ってきました。

現在、三菱船舶用ディーゼルエンジン（船用主機・補機・集魚灯補機用）をはじめ、三菱ダイヤFRP漁船、ヤマハ漁船、三菱純正オイル（エンジン潤滑油）・クーラント（エンジン冷却水）、船舶用プロペラ、油圧漁ろう装置・操舵機、各種船用機器などを販売しています。

陸用市場向け製品としては、三菱製の希薄燃焼方

式の高速ガスエンジン「GSRシリーズ（発電出力305～1500kW）」を、また、高速ガスエンジンGSR・発電機・排熱回収装置・制御盤を組み合わせた常用の高効率ガスエンジンコージェネレーションシステム「SGPシリーズ」をラインアップし、販売しています。



敷島機器株式会社 函館支店

平成25年（2013年）に三菱と東京ガスが共同開発した発電出力1000kWの「SGP M1000」を、平成27年（2015年）には三菱と東邦ガスが共同開発した発電出力500kWの「SGP M500」をラインアップに加え、多様な顧客ニーズに対応し取扱製品の拡充に努めて参りました。

敷島機器株式会社では発電出力1,000kWクラスを中心に、高性能な常用ガスエンジンコージェネレーションシステム「SGPシリーズ」の販売拡大に注力しています。さらに、非常用・防災用自家発電設備、三菱ビル設備用機器（セキュリティーシステ



高速ガスエンジンGSRを搭載した常用コージェネSGP M930（発電出力930kW）



高速ガスエンジンGSRを搭載した常用コージェネSGP M500（発電出力500kW）



SGP M1000（発電出力1,000kW）

ム、ビル管理システム、エレベーター)の販売・メンテナンスを通して、高い競争力を備えた製品及び顧客サービスを供給し続けています。

## 今後の注力事業

平成30年(2018年)9月6日に発生した北海道胆振東部地震(震度7)では地震直後から約2日間にわたり、北海道全域で約295万戸におよぶ大規模停電(ブラックアウト)が日本で初めて起きました。行政・企業はBCP(事業継続計画)対策を抜本的

に見直す必要に迫られ、分散型電源への関心が高まっています。中でも面的エネルギー利用に寄与する熱・電併給システムとして「常用ガスエンジンコージェネレーションシステム(発電出力規模1,000kWクラス)」の導入・活用が注目を集めています。

敷島機器株式会社は都市ガス事業者と協力してガス発電設備の普及促進に努めて参ります。高効率ミラーサイクル方式の高速ガスエンジン「GSRシリーズ」の販売拡大や、防災・減災に寄与する同エンジンを搭載した常用ガスエンジンコージェネレーションシステム「SGPシリーズ」、さらにディーゼルエンジンを搭載した非常用・防災用自家発電設備の受注獲得に注力して参ります。

